

8. 報告事項(1) 令和2年度事業報告

令和2年度事業報告

1. 基本方針・重点事項

・ 事業活動基本方針

豊田法人会は、昭和26年の創立以来「健全な納税者の団体」として、税知識の普及と納税意識の高揚に努め、企業経営と社会の健全な発展に貢献することに努力してきた。

豊田法人会の69年の活動の歴史と伝統の誇りを大切に、公益社団法人としての役割の認識を更に高め、「法人会の理念」に則り、会員の自己研さん、納税意識の高揚に努めると共に税のオピニオンリーダーとして、今後の望ましい税制の在り方を提言しながら、企業の発展を支援し地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として活動してきた。

・ 重点事項

(1) 「めざします企業の繁栄と社会への貢献」をキャッチフレーズとして、研修活動の充実と、公益目的事業に該当する地域社会貢献活動に積極的に取り組んだ。

(2) 税のオピニオンリーダーとしての自覚を高め、国政の健全な運営に寄与するため納税意識の高揚を目的とする諸活動に積極的に取り組んだ。

特に、税を考える週間行事に積極的に参加するとともに、広報誌「豊田法人会だより」を活用し一般の方も含め広く納税意識の高揚が図れるよう努めた。

(3) 企業の税務コンプライアンス向上のため、「自主点検チェックシート・ガイドブック」の活用を推奨し、企業の内部統制や経理面の質の向上に繋がる活動を推進した。

(4) 会活動の基盤である、組織の強化及び財政基盤の充実のため会員増強運動の推進及び福利厚生制度の紹介運動にも積極的に取り組んだ。

2. 主な事業活動

(1) 総務関係

イ 公益社団法人としての会の方針に沿った活動の充実を図った。

公益社団法人として公益目的事業を実施するとともに、不特定多数の利益の増進に寄与すべく地域社会貢献活動を計画し、ホームページ等を活用し広く一般参加の機会を広め目的の達成に努めた。

ロ 税を考える週間等への積極的な支援活動

税のオピニオンリーダーとして、税制に関する提言活動を行っているが、税を考える週間等において小学生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」を開催しその作品を掲示するほか、税務連絡協議会などの活動を通じ、諸団体が実施する税の作文・習字などの活動と積極的に協調し納税意識の高揚に努めた。

ハ 支部・部会活動

支部活動が、地域に密着した社会貢献活動として定着しており、会員以外の方の参加を得ながら、地域社会に貢献する幅広い活動を推進してきた。

税金川柳、税に関する絵はがき、ポスター等を活用した税に関する広報活動を行った。

(2) 組織関係

イ 会員増強対策

令和2年度は、会員増強運動の目標として、「12月末時点で、前年同月比純増(5年連続)を達成する」を掲げた。これを実現するため、「全員参加で、一人1件以上の加入勧奨を！」をスローガンに加入勧奨運動を展開した結果、12月末での4件の純増を達成することができた。また、3月末では、107社の新規加入を獲得することができたが、会員数は前年度と比較して18件減少してしまった。

ロ 会員数

	法人数	会員数	加入率
令和2年3月末	7,938社	3,513社	44.3%
令和3年3月末	8,068社	3,495社	43.3%
増・減	130社	△18社	△1.0%

注:令和3年3月末会員数の内訳 正会員2,948社 賛助会員 547社

ハ 支部組織

14支部(前年度に同じ)

豊田中	高橋松平	七州	豊南	猿投	高岡	上郷
稲武	旭	下山	小原	藤岡	足助	みよし

ニ 青年・女性部会

青年部会 会員数(令和2年3月末現在)・・・ 105名

女性部会 会員数(令和2年3月末現在)・・・ 88名

(3) 研修関係

研修活動は、会員の自己啓発を支援するための最重要事業である。

このため、経済の構造変化や昨今のIT化の進展により多様化する会員のニーズを踏まえて研修内容の充実を図るとともに、本部研修を柱としつつ、支部・部会研修を税務研修会と「税」以外のテーマによるミニ講演会をセットするなど、より効果的な実施を図った。

また、公益社団法人として、公益性の高い研修会等を企画し会員企業のみならず、一般市民の参加の機会を広めることに配慮した。

なお、研修会を通じて引き続き消費税の「適格請求書保存方式(インボイス制度)」に関する広報・周知、「期限内納付推進」・「スマート！確定申告」・「納税証明書のオンライン請求」・「e-Taxの利用推進」・「マイナンバーカード取得推進」等の運動を展開した。

イ シリーズ研修会

- (イ) 税務会計講座 ……5回シリーズ【3回実施】
- (ロ) 法人税セミナー(初級) ……5回シリーズ【4回実施】
- (ハ) 法人税セミナー(上級) ……5回シリーズ【3回実施】
- (ニ) 資産税セミナー ……2回シリーズ【2回実施】

ロ 定期研修会

- (イ) 決算期別説明会 ……年4回計画(3ヶ月に一度開催)【2回実施】
- (ロ) 新設法人説明会 ……年2回(豊田税務署と共催)【2回とも中止】

ハ 定例研修会

- (イ) 改正税法説明会【3会場とも中止】
- (ロ) 業種別税務研修会
 - ① 自動車部会(5会場8社で開催を計画)【1会場のみ実施】
 - ② 鉄工団地部会(豊田市鉄工団地協同組合と共催)【中止】
- (ハ) 大規模法人合同研修会「豊田・岡崎合同税務研修会」【中止】

ニ 支部主催研修会

各支部の年間活動計画に基づき税法・税務研修会を中心に開催予定であったが、ほとんど実施できなかった。

ホ 青年・女性部会研修会

両部会の年間事業計画に基づき税法・税務研修会を中心に開催した。

ヘ 講演会

例年、部会・支部において、各種講演会を実施しているが、本年はコロナウイルス感染予防のため、ほとんどの講演会を企画・開催することができなかった。そのなかで、名鉄トヨタホテルの市川幸治氏を講師にお招きし「GO TO キャンペーンの活用とコロナ対策について」の講演会を開催した。

ト インターネットセミナー

研修会等に参加できない人のために、豊田法人会のホームページから受講できるインターネットセミナーの利用拡大を推進した。インターネットセミナーは一般の方の受講も可能である。

チ e-Tax研修会

豊田法人会としてはe-Taxの普及拡大を活動の柱としており、会員企業においては確定申告をe-Taxを利用して行うよう従業員等を中心に実務研修会を例年実施しているが、本年は実施できなかった。

(4) 税制関係

イ 税制改正要望事項の提言

当法人会は、昨年に引き続き「今後の望ましい税制のあり方」を基本テーマに設定し、国税・地方税について踏み込んだ検討を行い、中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとしてわが国の将来を展望した建設的な提言に努めた。

ロ 自治体の首長等に対する要望活動の実施

(イ) 全法連「税制改正要望書」

次の方々に対して税制委員長から要望書を手交した。(代理受領を含む)

- ① 豊田市長 ② みよし市長 ③ 豊田市議会議員 ④ みよし市議会議員
- ⑤ 地元選出国會議員

(ロ) 愛知県連「税制改正提言事項」

豊田市長、みよし市長及び豊田商工会議所会頭に手交し、各商工会会長に郵送した。

(5) 地域社会貢献活動

重点事項に掲げた地域社会貢献活動は、法人会の重要な事業活動であり、本部支部、青年・女性部会が一体となり、公益社団法人の名に相応しい活動を目指した。

また、支部制度も定着し年々地域に密着した貢献活動が提案されるようになってきたが、単に寄付金の拠出に終わることなく、地域住民と一緒に参加型の地域社会貢献活動に積極的に取り組むよう努めた。

(6) 広報関係

法人会のイメージアップ・知名度向上を図るため、全法連が作成したポスター(法人会キャラクター)を本会役員・支部役員が率先してそれぞれの企業の目立つところに掲示するとともに、研修会・講演会の会場に積極的に掲示した。

また、「所得税の確定申告」・「税を考える週間」に併せて「税金川柳」、小学生の「税に関する絵はがき」を掲示する等広報活動を展開した。

イ 会報発行関係

「豊田法人会だより」は、従来どおり年3回発行するが、税の啓発のための広報活動として、各号に当局作成のリーフレットの折込み及び関連記事を掲載して、地域社会への広報誌としての役割を担うべく努力した。

広報誌の配布先は会員のほか、一般市民に広く広報するため、地域の交流館・地元商工会や地元金融機関の待合室等に配付して多くの方に見て頂けるよう工夫した。

ロ ホームページ関係

情報化時代の広報として重要性が増していることから、各イベントを広報する情報を掲載するなど内容の充実と記載記事の更新を積極的に行い、当法人会の広報活動の大きな柱とし、広く社会に対して広報するよう努めた。

また、研修・講演会等の際の、一般参加の機会の確保のため、分かりやすい広報に努めた。

(7) 厚生関係

イ 福利厚生制度の推進

法人会の福利厚生制度を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、引続き保険協力三社との連携を強化し、福利厚生制度の普及拡大を図り、財政の安定化に努める。

このため、全法連の計画した「想いをつないで50年『すべての会員企業を守りたい』キャンペーン」の達成に向けて、厚生委員会メンバーを中心に積極的に紹介運動を展開した。

ロ 福利厚生事業の充実

「生活習慣病予防検診(人間ドック)」は、例年どおり年2回実施することとし、受診者に1人当たり1,000円の補助を行った。

ハ その他の福利厚生事業

県法連で推進している福利厚生事業(貸倒保証制度、福利厚生倶楽部中部)について、財政基盤安定化の面からも一層の拡大促進を図った。

(8) 青年・女性部会関係

イ 青年部会

「基本方針」並びに「年度方針」に沿った事業計画に基づき部会活動を積極的に展開した。

ロ 女性部会

「基本方針」並びに「年度方針」に沿った事業計画に基づき部会活動を積極的に展開した。

税を考える週間および確定申告の期間に合わせ、地元金機関の待合室等に「税金川柳」及び小学生の「税に関する絵はがき」を掲示して納税意識の高揚を図った。

令和2年に実施した本会・支部・部会等の事業並びに会議等の活動状況は、次頁以降のとおりです。

《公益目的事業》

(1)税知識の普及を目的とする事業

イ. 税務研修会

(単位:名)

研修内容	開催日	講師等	参加数
税務会計講座			
第1回	2.09.18	東海税理士会 豊田支部所属	19
第2回	2.10.16	矢頭 税理士	18
第3回	2.11.13		18
第4回	3.01.18		中止
第5回	3.02.19		中止
		延べ	55
法人税セミナー(初級)			
第1回	2.09.10	豊田税務署 法人課税第一部門	20
第2回	2.10.09	市川 上席国税調査官	19
第3回	2.12.11		19
第4回	3.01.08		19
第5回	3.02.10		中止
		延べ	77
法人税セミナー(上級)			
第1回	2.09.25	刈谷税務署 審理専門官	12
第2回	2.10.23	伊藤 審理専門官	12
第3回	2.11.20		12
第4回	3.01.26		中止
第5回	3.02.26		中止
		延べ	36
資産税セミナー			
第1回	2.10.20	豊田税務署 資産課税第一部門	6
第2回	2.11.18	三浦 統括国税調査官	8
		高坂 総括上席国税調査官	
		延べ	14

ロ. 業種別税務研修会

研修内容	開催日	講師等	参加数
①自動車部会 鬼頭工業(株)	2.11.26	豊田税務署 法人課税第一部門	47
小島プレス工業(株)	2.10.	左右田 統括国税調査官	中止
豊田鉄工(株)、大豊工業(株)	2.11.	市川 上席国税調査官	中止
(株)協豊製作所、アイシン高丘(株)	3.01.		中止
(株)豊生プレーキ工業(株)、(株)FTS	3.01.		中止
②鉄工団地部会	3.02.		中止
		延べ	47

《公益目的事業》

(1)税知識の普及を目的とする事業

ハ. 決算期別説明会

研修内容	開催日	講師等	参加数
3月～5月	2.04.24	豊田税務署 法人課税第一部門	中止
6月～8月	2.06.12	市川上席国税調査官 他	中止
9月～11月	2.09.11		15
12月～2月	3.01.12		12
		計	27

ニ. 新設法人説明会

研修内容	開催日	講師等	参加数
(豊田税務署と共催)	2.04.24	豊田税務署 法人課税第一部門	中止
	2.09.27	市川 上席国税調査官他	中止
		計	0

ホ. 大規模法人研修会(旧調査部所管法人税務研修会)

研修内容	開催日	講師等	参加数
(岡崎法人会との共催)	2.10.26	名古屋国税局調査部次長	中止

ヘ. 改正税法説明会

研修内容	開催日	講師等	参加数
第1回 豊田会場	2.06.17	豊田税務署 法人課税第一部門	中止
第2回 みよし会場	2.06.22	左右田 統括国税調査官	中止
第3回 藤岡・小原会場	2.06.30	市川 上席国税調査官	中止
		計	0

ト. e-Tax実技研修会

研修内容	開催日	講師等	参加数
確定申告をe-Taxで行うための実技研修会 (会員企業が主催)	3.2.5	会員企業の顧問税理士 他	中止

《公益目的事業》

(1)税知識の普及を目的とする事業

チ. 支部税務研修

支 部	開 催 日	講 師 等	参加数
稲武支部	2. 04. 10	「自主点検チェックシートの活用方法について」 左右田 豊田税務署法人第一統括官	中止
稲武支部	2. 11. 09	「適格請求書等保存方式の概要について」 左右田 豊田税務署法人第一統括官	3 3
藤岡小原支部(共同開催)	2. 06. 30	「改正税法について」 左右田 豊田税務署法人第一統括官	中止
みよし支部(共同開催)	2. 06. 22	「改正税法について」 左右田 豊田税務署法人第一統括官	中止
		計	3 3

リ. 本会・部会税務研修

部 会	開 催 日	講 師 等	参加数
本会	2. 12. 08	「スマホを使った確定申告の仕方」 渡辺 豊田税務署個人第一統括官	5 4
青年部会	2. 08. 24	「税務行政の将来像」に関する最近の取組状況 宮村 豊田税務署副署長	3 3
	2. 11. 27	「国際課税への取組」 小泉 豊田税務署長	3 2
女性部会	2. 08. 21	「国税の現場」 小泉 豊田税務署長	3 0
	2. 11. 11	「知っておきたい相続税」 小泉 豊田税務署長	1 4
	2. 12. 18	「適格請求書等保存方式の概要について」 左右田 豊田税務署法人第一統括官	1 4
	3. 01. 25	「税務行政の将来像」に関する最近の取組状況 宮村 豊田税務署副署長	中止
		計	1 7 7

《公益目的事業》

(2)納税意識の高揚を目的とする事業

事業	開催日	事業内容	参加数等
豊田産業フェスタ 税広報・呈茶・募金活動 (女性部会)	2. 08. 29 ～30	税金広報パンフレット配布	中止
税金川柳・税の絵はがきポスター (女性部会)	2. 11. 06 ～20 3. 02. 8 ～22 3. 02. 05 ～03. 15	税金川柳・絵はがき募集活動 優秀作 ホテルトヨタキャッスル入口展示 優秀作 豊田信用金庫本店展示 優秀作 豊田市福祉センター会館 【確定申告会場】展示	応募 42 作品
広報誌 豊田法人会だより 夏号(135号)	2. 07. 15	税に関する各種情報の掲載 第8回豊田法人会通常総会等	3, 850部
秋号(136号)	2. 11. 15	税制改正に関する提言等	3, 850部
新春号(137号)	3. 02. 01	年頭のご挨拶、確定申告関係等	3, 850部
税務連絡協議会を通じた活動 (豊田税務署管内 納税貯蓄組合連合会主催)	2. 11. 11 ～17	「税を考える週間」行事 税に関する作品展	作文 113点 習字1, 346点 ポスター 94点

(3)税制及び税務に関する調査及び提言に関する事業

事業	開催日	事業内容	参加数等
2021年度税制改正の提言 提言案の募集	2. 03. 18 ～2. 04. 23	理事会員へのアンケート	16
提言集約・全法連への提案 (税制小委員会)	2. 04. 03	提言案の討議・整理 全法連へ提案提出	7
自治体首長への要望提出	2. 10. 19 2. 10. 20	古本議員・八木議員に手交 豊田市長・市議会議長に手交 みよし市長・議長に手交	3 3 3

《公益目的事業》

(4) 地域企業の健全な発展に資する事業

経済・経営講演会、実務研修会

開催区分	開催日	講師等	参加数
旭支部	02. 12. 02	「決算処理を学ぼう」 熊谷 泰則 氏 [税理士]	18
稲武支部	02. 10. 15	「GO TOキャンペーンの活用とコロナ 対策について」 市川 幸治 氏 [名鉄トヨタホテル総支配人]	20
本部 経済懇話会・商工会議所共催 経営講演会	02. 07.	コロナウイルス感染予防のため開催せず	0
経済懇話会・商工会議所共催 経済講演会	03. 03.	コロナウイルス感染予防のため開催せず	0
		計	38

(4) 地域企業の健全な発展に資する事業

企業施設等見学会

開催区分	開催日	講師等	参加数
	-	コロナウイルス感染予防のため実施せず	0

(5) 地域社会への貢献を目的とする事業

健康・文化・芸術等講演会

開催区分	開催日	講師等	参加数
	-	コロナウイルス感染予防のため実施せず	0

《公益目的事業》

(5) 地域社会への貢献を目的とする事業
社会貢献事業

支 部 等	実 施 日	事業内容等	参加数
高橋松平	03. 02. 08 ～09	裸まつり「天下祭」への支援・運営参加 松平地区を代表する祭りを支援する ことを通じ、地域おこしに貢献する	一般客の の参加なし での祭事
小原支部	02. 11. 14 ～12. 06	小原四季桜まつり関連事業 観光客用チラシ2万部作成 税に関する標語も掲載	年間来場者 約16万人
豊田中支部	03. 03. 07	障がい者交流ゲーム大会	121人
足助支部	03. 02. 26	「綾渡の夜念仏と盆踊」平勝寺おもてなし事業	-
足助支部	02. 10. 24	足助中学校統合50周年事業	中止
稲武支部	02. 10. 18	「どんぐり運動会2020」支援	中止
七州支部	02. 12. 06	障がい者の日記念事業支援 「ふれあい交流会」参加・菓子等提供	中止
本 会	2. 07. 19	「とよたハートフルコンサート」協賛 女性部会役員による運営等参加	中止
女性部会	2. 08. 30	豊田産業フェスタ 呈茶を伴う募金活動の収益金で 福祉施設へ車椅子を寄贈	中止

《収益事業等》

(6)会員の福利厚生等に資する事業

事業区分	実施日	内容	参加数
会員の福利厚生事業	02. 07. 20 ～22 02. 11. 20 ～21	上半期生活習慣病検診 下半期生活習慣病検診	上期・下期 合計 206名
保険事業 簡易保険	年間随時	かんぽ団体保険料集金事務	-
各保険制度 (大同生命・AIU・アフラック)	年間随時	制度の普及推進(案内・周知) 大型保障制度 ビジネスガード がん・医療保険制度 貸倒保障制度	-

(7)会員の交流に資するための事業

事業区分	実施日	内容	参加数
視察旅行 各支部	-	コロナウイルス感染予防のため実施せず	0
青年部会	-	コロナウイルス感染予防のため実施せず	0
女性部会	-	コロナウイルス感染予防のため実施せず	0
本会	-	コロナウイルス感染予防のため実施せず	0
		計	0